

感性にぴったりの優れたデザインと、使いやすさへの提案 家づくりの思いが伝わる、Beハウス常総すまいるスタイル



総タイトルの外壁の太田邸外観。重みのある落ち着いた色合いが訪れるどなたからも好評です

顧客と価値観を共有して 自分流の家づくりを応援

今年5月、常総「エータウン」内にオープンした「常総すまいるスタイル」は、まるで小さな街の住宅相談室。「地域に密着して、個性を大切にしたい住空間をご提案し、情報を発信しています。気軽に立ち寄ってご相談ください」と、所長の倉持知子さん。デザイナーは倉持さんと須藤雅樹さんのお2人で、今回の太田邸は須藤さんが主に担当しました。

◆
ご主人●家は、基本的には一生に一度の大きな買い物ですよね。それでいて目に見えない部分も多く、不安になります。その点、Beハウスさんは原価が明示されていて、デザインも僕たちの感性に合うてました。

奥様●話したときの感じも良く、気持ちやすくて通じた気がしました。リビングは吹き抜けがあつて、広々として、私がアパートに言ったことをよく分かってくれました。

須藤●なるべく広く感じられるようにとのご要望でしたので、LDKとウッドデッキを全開口サッシでつないで、開けると一体感が出るようにしたり、キッチンには頭上に吊り戸棚をつけず、フラットにしたりなど、いろいろ工夫してみました。

奥様●キッチンに立つて全体が見渡せるよう、階段もストリップにしてもらつて。だから和室の引き戸が壁の中に隠れて全開口になるというのは、すごくいいと思いました。

ご主人●子どもが生まれたら小さいうちにはここで遊ばせて、将来、両親が一人暮らしになる

たときは家へ呼んで、この部屋を使つてもらおうと。開け放せば広くなつて子供に目が行き届き、個室にするときは独立性がある程度確保できようという、二重のイメージで考えてもらいました。

奥様●無垢パインの床もお気に入り。夏でもサラサラしていて気持ちよく、いつも裸足で暮らしています。

ご主人●無垢材は傷がつきやすく、反りや割れの心配もあるので、安易には使わない方がいいというアドバイスもしていただきました。

須藤●イメージの良さだけで決めること、こんなはずじゃなかったというにもなりかねないので、ある程度、その長所や短所も理解した上で検討していただきたいですね。

ご主人●なるべく家具を置かないので、収納をできるだけ多くしてもらつたら、キッチンやダイニングのちょうどしたスペースにも、棚をサービスでつけてくれました。

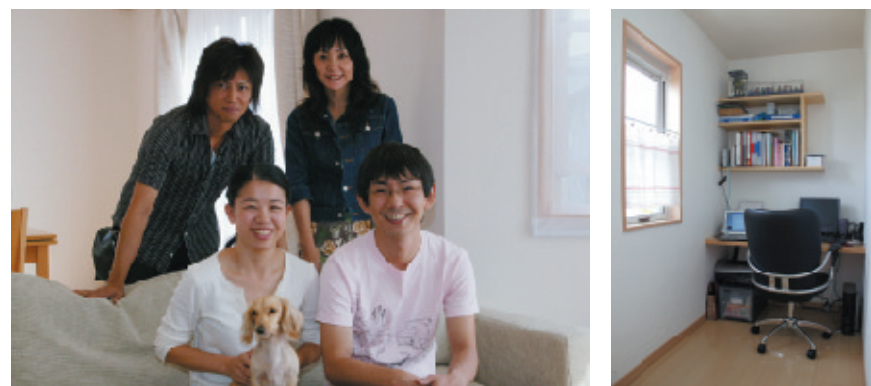
奥様●キッチンの床下収納も特別に、蓋が2枚に分かれるものを作ってもらつたんです。軽くて使いやすしいし、外したときも邪魔にならないので、すごく便利です。

須藤●軽くても丈夫で収まりが良いよう、現場で試行錯誤しましたから、もう何回でも作れますよ(笑)。

奥様●デザインももちろんですが、使い勝手の良さはそれ以上に大事。毎日のことなので、なるべく楽しんで暮らしたい(笑)。Beハウスにして本当に良かったと思います。(取材/池田充雄)



左/庭に向かって多角形に張り出した窓が、リビングをいっそう広く感じさせます
上/吹き抜けから見下ろしたリビング。パイン無垢材の床が居心地の良さを高めています



上左/見通しの良いストリップ階段。階段下はタイル敷きにしてドッグケージを置いています
上右/キッチンは吊り戸棚がなく開放的。リビングから和室にまで目が届きます
下左/太田雄一さん・真希子さんご夫妻。後列は須藤さんと倉持さん
下右/2階の書斎コーナー。廊下からの続きなので閉塞感がなく、それでいてプライベートを保てます

Beハウス
—デザイナーとつくる家—
<http://www.behouse.jp/>

常総すまいるスタイルの「常総すまいるスタイル」の完成月毎に開催している見学会も毎月開催しています

